

## 概要

- 豊かな海と漁業を基盤として発展してきたが、漁業者の高齢化、担い手不足、水産物価格の不安定化などにより、漁業単体で地域経済を支えることが年々難しくなっている。
- 既存の漁業を基盤としつつ、海や漁港、水産資源、海の文化を多面的に活用し、地域に新たな価値と人の流れを生み出す「海業」の振興に取り組む。
- 漁業体験、海のアクティビティ、宿泊施設等の民間事業者や地域資源を活かした産業コンテンツとの連携により、水産物の消費増進と交流促進を図る。
- 「海業」として、漁業を核に、食、体験、交流、環境、教育へ展開することで、地域に持続的な収益と雇用、人の流れを生み出し、海の魅力・価値を向上させる。



## 海業の取組概要

### <方向性>

- (1) 海の恵みを「稼ぐ力」に変える海業（食・加工・販売）
- (2) 漁港・海を「拓く」海業（場づくり・利活用）
- (3) 人と学びを生み出す海業（体験・教育・担い手）
- (4) 環境価値を地域の力に変える海業（環境・経済・地域力）



## 効果

- 漁業者の所得向上
- 教育旅行を含む観光入込客数の増加
- 水産加工品等によるふるさと納税額アップ
- 新たな産業コンテンツによる雇用創出 etc.

## 協力体制

### <協議主体・実施主体>

- 南伊勢町
- 三重外湾漁業協同組合
- 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン
- 町内民間企業（南伊勢町商工会・観光協会）

### <連携団体等>

- 三重県、その他大学・民間機関など

## スケジュール

- 令和 8年 海業取組調査・実施計画の作成  
テストイベント実施・検証
- 令和 9年 前年取組の検討・試行事業実施
- 令和 10年 海業取組の開始